

2024年経済構造実態調査（製造業事業所調査）結果の概要（広島県）

1 概況

2024年経済構造実態調査（製造業事業所調査）によると、

広島県の製造品出荷額等は、11兆4765億円で全国11位（前年10位）

広島県の付加価値額は、2兆9608億円で全国11位（前年12位）

○広島県の産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で4兆2929億円（構成比37.4%）

○広島県の産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で7369億円（構成比24.9%）

表1 主要項目の状況（全事業所）

項目	広島県					全国	
	実数	前年からの増減数	前年比（%）	全国シェア（%）（前年）	全国順位（前年）	実数	前年比（%）
事業所数（所）	5,871	△ 29	△ 0.5	2.6（2.6）	13（13）	222,200	△ 0.5
従業者数（人）	214,305	64	0.0	2.8（2.8）	11（11）	7,734,473	△ 0.2
製造品出荷額等（億円）	114,765	7,842	7.3	3.1（3.0）	11（10）	3,732,388	3.1
付加価値額（億円）	29,608	△ 945	△ 3.1	2.7（2.8）	11（12）	1,109,034	2.4

※前年の比較は経済構造実態調査（製造事業所調査）のデータによる。ただし、経済センサスの調査年の翌年は、経済センサスのデータによる。

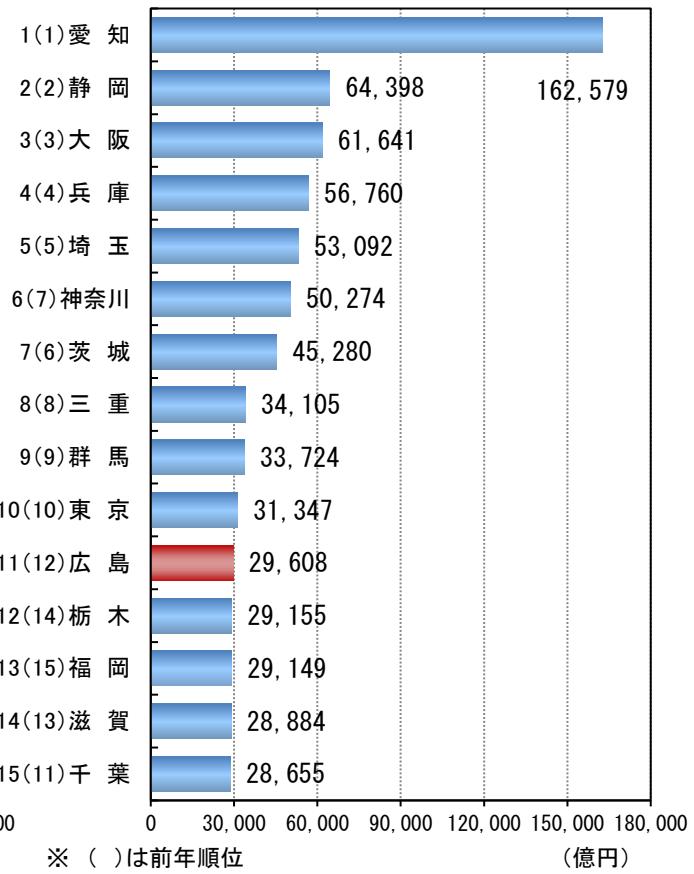
図1 製造品出荷額等：上位15都道府県



※（）は前年順位

(億円)

図2 付加価値額：上位15都道府県



※（）は前年順位

(億円)

[資料] 経済産業省『2024年経済構造実態調査「地域別統計表」』（令和7年8月29日公表）により作成

2 産業別の状況

(1) 事業所数 ~上位3業種は金属製品、生産用機器、輸送用機器~

事業所数は、5,871事業所となり、全国13位。

産業中分類別で事業所数が最も多いのは、金属製品（813事業所、構成比13.8%）で、次いで生産用機器（714事業所、構成比12.2%）、輸送用機器（649事業所、構成比11.1%）の順となった。

上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約4割（37.1%）を占めている（図3）。

(2) 従業者数 ~上位3業種は輸送用機器、食料品、生産用機器~

従業者数は、21万4305人となり、全国11位。

産業中分類別で従業者数が最も多いのは、輸送用機器で5万2054人（構成比24.3%）、次いで食料品2万7158人（構成比12.7%）、生産用機器2万3362人（構成比10.9%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約5割（47.9%）を占めている（図3）。

(3) 製造品出荷額等 ~上位3業種は輸送用機器、鉄鋼、生産用機器~

製造品出荷額等は、11兆4765億円となり、全国11位。

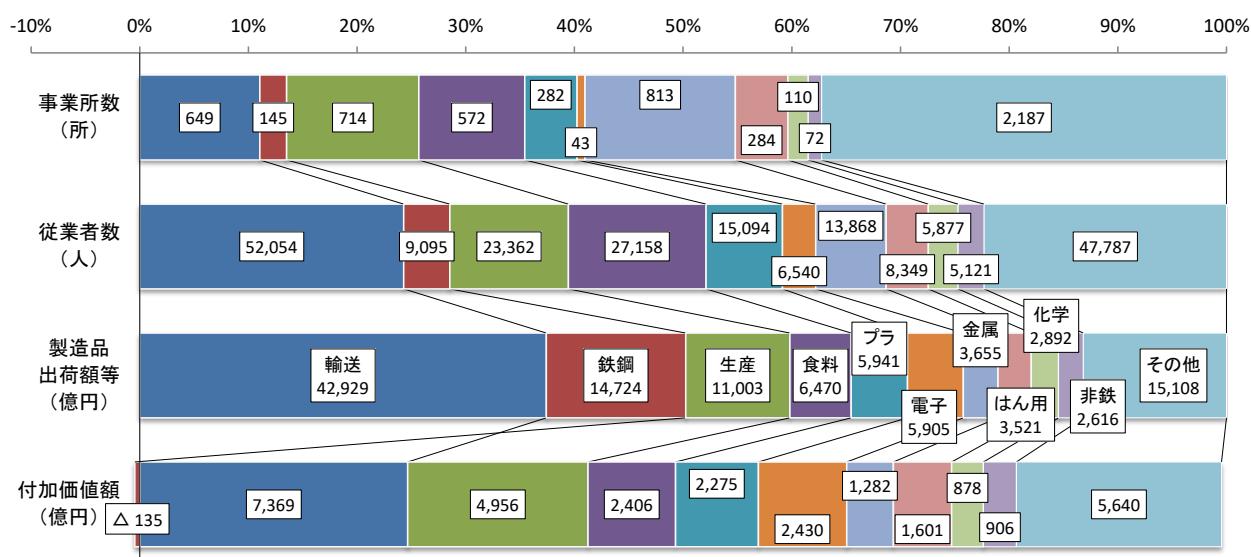
産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で4兆2929億円（構成比37.4%）、次いで鉄鋼1兆4724億円（構成比12.8%）、生産用機器1兆1003億円（構成比9.6%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約6割（59.8%）を占めている（図3）。

(4) 付加価値額 ~上位3業種は輸送用機器、生産用機器、電子部品~

付加価値額は、2兆9608億円となり、全国11位。

産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で7369億円（構成比24.9%）、次いで生産用機器4956億円（構成比16.7%）、電子部品2430億円（構成比8.2%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約5割（49.8%）を占めている（図3）。

図3 広島県の主要産業の構成（製造品出荷額等の上位10業種・全事業所）



[資料] 経済産業省『2024年経済構造実態調査「地域別統計表」』
(令和7年8月29日公表)により作成